

令和9年度以降英語検定試験実施日の変更について

- 1 提案経緯 全国商業高等学校長協会大学入試対策委員会では、連絡理事連絡協議会及び検定委員会委員長会議での各都道府県から要望を受け、全商協会大学特別推薦の活用及び推薦枠に対する充足度を高め、会員生徒の進路選択をさらに広げるため、大学特別推薦手続きのスケジュールについて検討を重ねてきた。その中で、「本協会主催英語検定試験の実施時期について、9月実施から7月実施への変更が可能か」の議論がなされ、このことについて、公益財団法人全国商業高等学校協会へ検討の要請がなされた。
これを受け、公益財団法人全国商業高等学校協会では、課題検討委員会で検討を進め、各都道府県検定委員会委員長へのアンケート（アンケート実施概要参照）及び英語研究部への実施日変更の可否調査を実施し、協議の結果、以下のとおり実施日を変更することを理事会に提案し、理事会で決議された。
- 2 実施日 7月第3週日曜日とする。（変更前9月第2週日曜日）
- 3 開始年度 令和9年度から施行する。

<アンケート実施概要>

- ①対象 47 都道府県連絡理事
- ②方法 Google フォームによるインターネット調査
- ③期間 令和6年11月16日（土）から12月13日（金）
- ④結果 回答数 37 道府県
「賛成」70%（26票）、「反対」27%（10票）、
「どちらともいえない」3%（1票）

賛成の主な理由

大学推薦入試の受験機会が拡大できる。全商協会大学特別推薦Bグループの日程が緩和される。7月実施の結果が全商推薦に反映できる。9月実施では資格取得を前提とした全商推薦の大学応募に間に合わない。9月と12月の検定実施では12月の受験準備期間が短い。

反対の主な理由

推薦入試でも利用しているため現行の9月実施でいい。申込時期が4月～5月になることが予想され、事務作業の時間に余裕がない。7月に海外研修旅行を計画している学校もあり、英語に興味がある生徒が受験できない。